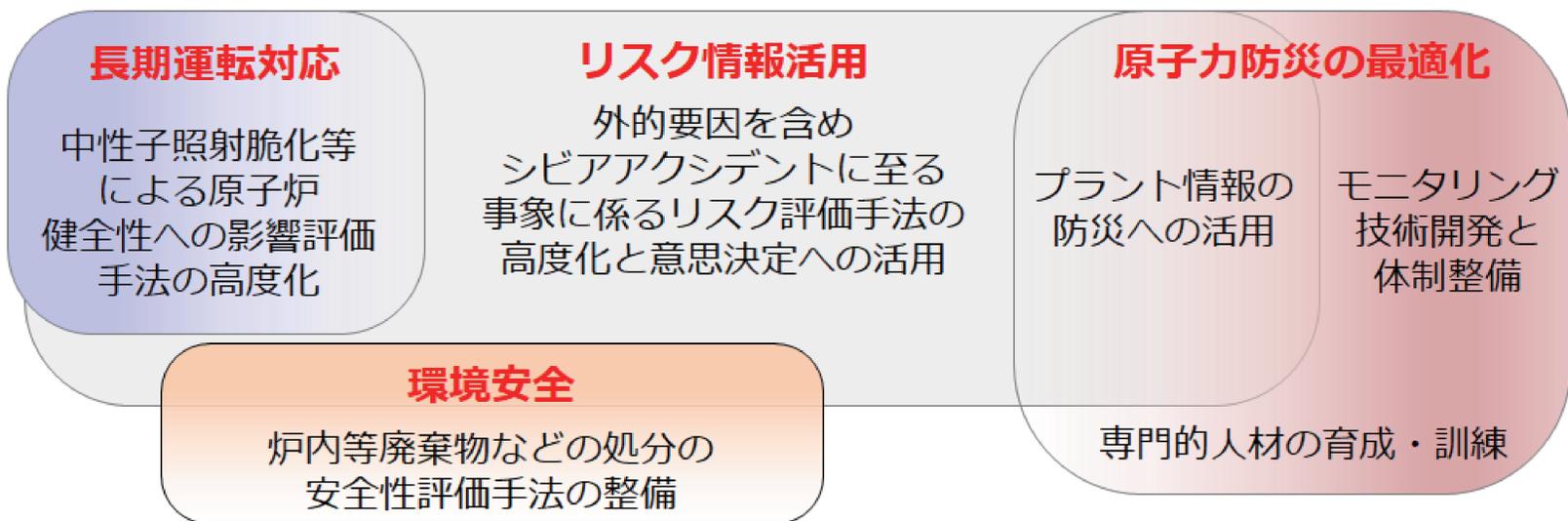


原子力安全規制に貢献するための安全研究

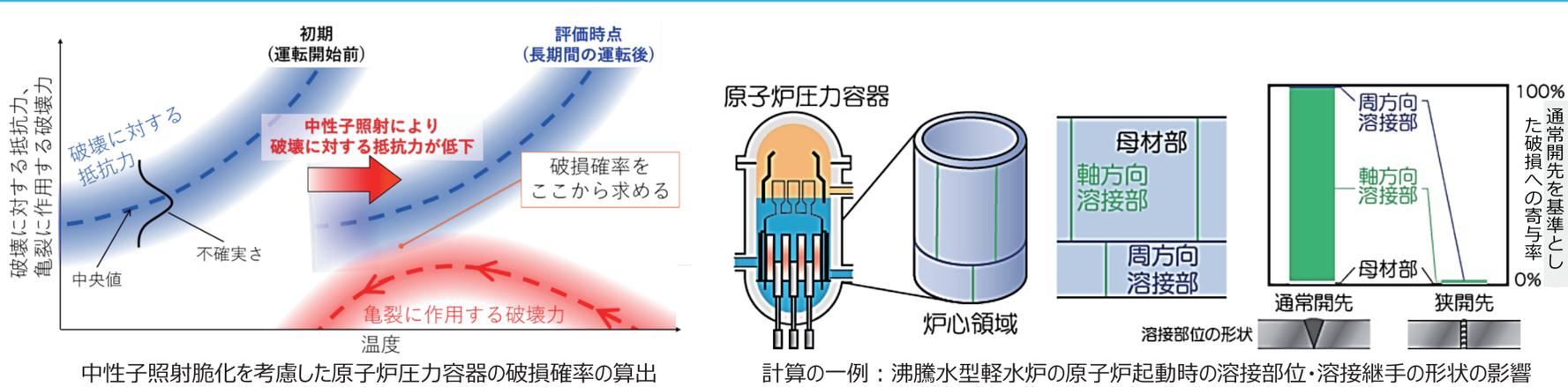
福島第一原子力発電所事故の教訓や原子力利用を取り巻く動向（カーボンニュートラル、エネルギー安全保障、新検査制度導入など）を踏まえ、**リスク情報活用**、**長期運転対応**、軽水炉廃止措置に係る**環境安全**及び**原子力防災**の最適化に研究の重点を置き、軽水炉の安全研究ニーズに応えます。

安全研究・防災支援部門で取り組む分野



<p>熱水力安全</p> <p>大型格納容器試験装置 (CIGMA)</p>	<p>燃料安全</p> <p>原子炉安全性研炉 (NSRR)</p>	<p>再処理安全</p> <p>サイクル施設火災実験装置 (ACUA)</p>	<p>臨界安全</p> <p>臨界実験装置 (STACY) ※設備更新中</p>	<p>保障措置</p> <p>高度環境分析研究棟 (CLEAR)</p>
軽水炉施設の安全性		核燃料サイクル施設の安全性		

軽水炉長期運転に資する原子炉圧力容器の健全性評価



確率論的破壊力学に基づく破損確率の定量評価

- 軽水炉の原子炉圧力容器の健全性に影響する因子の不確かさを考慮し、すべての炉型のすべての過渡条件を対象として、確率論的破壊力学に基づく破損確率を算出できる解析コード **PASCAL5*** を公開
- 長期間運転時の健全性や検査の有効性の確認など、リスクや重要度に応じた評価や検査等への貢献に期待

* PASCAL5: PFM Analysis for Structural Components in Aging LWR Version 5